

結果のまとめ

平成26年度学校評価
『教育活動アンケート』

生 徒
保 護 者
職 員

宮城県石巻商業高等学校
〒986-0031 石巻市南境字大樋 20 番地
電話(0225)22-9188
Fax(0225)22-9189
<http://www.sekisyo.myswan.ne.jp>

平成24年度アンケート項目別集計結果

	質 問 項 目	生 徒 肯定票	保護者 肯定票	教職員 肯定票
1	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行なわれている	70.8%	86.4%	61.4%
2	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行なわれている	91.4%	90.0%	86.7%
3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行なわれている	77.9%	83.7%	68.2%
4	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている	76.9%	83.3%	84.4%
5	学校として、部活動は活発に行なわれている	91.8%	93.9%	90.9%
6	学校として、生徒会活動は行なわれている	88.1%	93.3%	81.8%
7	自分にとって、有意義な学校行事がある	79.6%	92.8%	88.9%
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	78.2%	87.5%	51.5%
9	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	79.3%	71.1%	66.7%
10	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	82.2%	75.0%	48.9%
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	73.1%	74.1%	31.1%
12	自分にとって、学校生活は充実している	77.4%	91.7%	76.7%
13	自分にとって、朝の読書は有意義であり、得るものがあった	72.5%		77.3%
14	生徒として、本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある	55.8%		47.7%

平成25年度 アンケート項目別集計結果

	質 問 項 目	生 徒 肯定票	保護者 肯定票	教職員 肯定票
1	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行なわれている	78.5%	89.1%	72.7%
2	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行なわれている	91.4%	91.9%	86.4%
3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行なわれている	86.1%	84.3%	81.8%
4	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている	80.7%	85.3%	88.6%
5	学校として、部活動は活発に行なわれている	88.2%	90.4%	72.7%
6	学校として、生徒会活動は行なわれている	84.9%	89.9%	72.7%
7	自分にとって、有意義な学校行事がある	80.1%	90.1%	90.9%
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	78.1%	81.5%	43.2%
9	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	84.7%	80.8%	81.8%
10	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	84.1%	79.2%	45.4%
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	74.2%	72.6%	36.4%
12	日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる	66.9%	63.5%	75.0%
13	自分にとって、学校生活は充実している	83.1%	90.4%	72.7%
14	生徒として、本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある	58.2%	53.6%	22.7%

平成26年度 アンケート項目別集計結果

	質 問 項 目	生 徒 肯定票	保護者 肯定票	教職員 肯定票
1	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行なわれている	78.0%	90.3%	81.4%
2	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行なわれている	90.9%	90.6%	67.4%
3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行なわれている	85.1%	86.5%	81.4%
4	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている	84.0%	82.7%	90.7%
5	学校として、部活動は活発に行なわれている	90.3%	88.3%	76.7%
6	学校として、生徒会活動は行なわれている	87.3%	92.4%	69.8%
7	自分にとって、有意義な学校行事がある	86.1%	93.8%	88.4%
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	82.0%	81.2%	48.8%
9	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	85.3%	83.5%	79.1%
10	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	86.4%	82.7%	58.1%
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	76.3%	81.5%	34.9%
12	日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる	67.9%	65.7%	74.4%
13	自分にとって、学校生活は充実している	83.0%	91.5%	74.4%
14	生徒として、本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある	57.3%	79.2%	39.5%

アンケート調査分析結果

学校評価アンケートは、生徒・保護者・教員に対して、学習・進路・生徒指導・学校環境などの14項目に「そう思う」「大体そう思う」を肯定的な意見とし、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的な意見として分析しました。

1. 震災後の意識

東日本大震災の被災から3年10カ月が経過し、今なお仮設住宅より通学している生徒も数多くいる現状（1年19名2年24名3年20名・平成26年4月調査）で、家庭での学習環境も充実していない状況の生徒もいます。今回のアンケート項目、災害・非常時の防災対策に対する意識は、昨年度より、生徒85.3%・保護者83.5%とも高い結果であります。学校として今後、いつ起こるかわからない災害に、適切な避難方法を確立したいと思います。

2. 生徒・保護者・教員の学校へのアプローチ

(1) 質問項目から考察

さらに、アンケートを通して、生徒の肯定的な意見の中で、昨年度より上昇している質問項目は、14項目中前述した防災を入れて8項目です。内容は、以下のとおり（生徒アンケート回答総数は、536名分）

5.学校として、部活動は活発に行なわれている	90.3%
6.学校として、生徒会活動は行なわれている	87.3%
7.自分にとって、有意義な学校行事がある	86.1%
8.学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	82.0%
10.保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	86.4%
11.校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	76.3%
12.日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる	67.9%

でした。保護者（保護者アンケート回答総数は、341名分）に関しても、昨年を上回る肯定的な意見のパーセントは、14項目中前述した防災を入れて10項目です。その中でも、生徒同様に、「自分にとって、有意義な学校行事がある」が93.8%を占める高い結果となり、保護者も学校行事に関心を示しています。教員（教員アンケート回答総数は、43名分）は、昨年を上回る肯定的な意見のパーセントは、14項目中7項目です。一番高い項目は、「生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に

応じてくれる体制ができている」の項目で、90.7%です。その反面、「生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行なわれている」は、生徒・保護者の高い肯定的な意見に比べて、教員の肯定的な意見は67.4%と昨年度よりポイントを下げています。今後の指導の方法の対応を考えたいと思います。

(2) 石巻専修大学との高大接続事業について

「生徒として、本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある」の項目、保護者・教員に関しては、昨年度より肯定的な意見は増加傾向にあります。しかしながら、生徒の意識には、ここ3年間ほぼ同じ数値ポイントです。この質問の主旨は、自分の進路に高大研究事業が関係あるかを問うものではありませんが、平成19年から実施している高大接続研究事業の在り方について石巻専修大学と話し合う機会を設けたいと考えています。

(3) いじめについて

昨年度より「日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる」項目に関して、生徒・保護者とも肯定的な意見は65～67%と、昨年度よりはわずかながらポイントを上げていますが、しっかりと対処と対応しなければならないことを再認識しました。学校として「いじめ等総合対策委員会」のほかに、「スクールカウンセラーとの面談」「別室登校関係者会議」を設けるなど、生徒の精神的な悩みに対応できる体制をさらに継続していきたいと考えています。

今年度も、「生徒は部活動や授業を通して目標に向かって努力することによって、精神を安定させ、生活基盤である、生活の所作挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の重要性を意識することにより充実した学校生活を送れている」と非常に良い分析結果が見られます。

3. これからの石商にあり方について

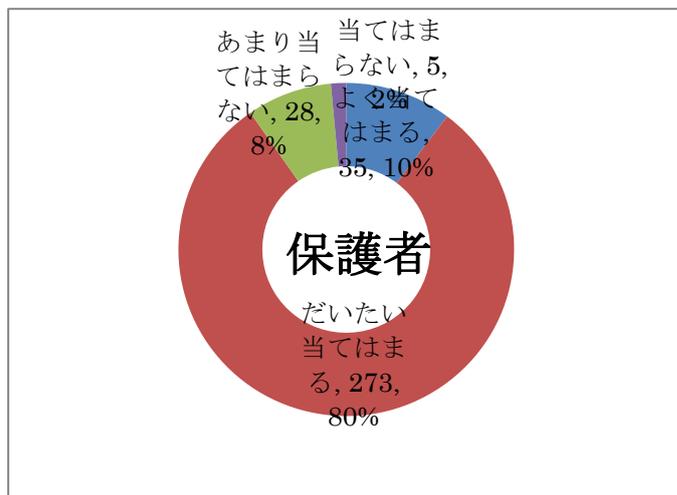
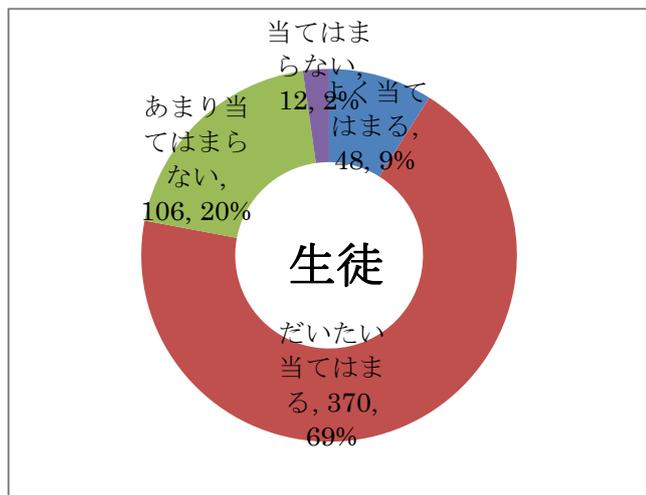
東日本大震災から被災により、石巻は大きく変化しています。本校の生徒の家庭や同窓生も震災後、生活が一変した方もおります。また石巻及び近隣市町村から学区外への人口流出により、生徒の少子化がさらに拍車がかかり、本校もここ数年定員割れの状況が続いています。そのため、5年後・10年後の石商の存続・発展を見すえた抜本的な教育活動（計画）の新構想体制の構築が、本校の責務となります。このような時こそ、本校では組織力を高め、より良い地域や学校関係者のバックアップ体制を整備し、今回の貴重な意見である生徒・保護者・教員の学校評価を生かして行く所存です。

学習活動について

本校では、生徒の希望進路を実現するために次のような教育活動を実施しています。一年生では一般教科と基礎・基本的な商業科目を学習します。商業科目においては、二年生から実施される進路に応じた類型を選択するため、商業科目に関する発展的な学習を行っています。

生徒の「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている」という質問項目では、平成19年度から、57%、67%、61%、58%、59%、70.8%、78.5%、今年が78.0%でした。

質問No.1. 学ぶ意欲を引きだし、学力を身につけられるような授業が行われている。



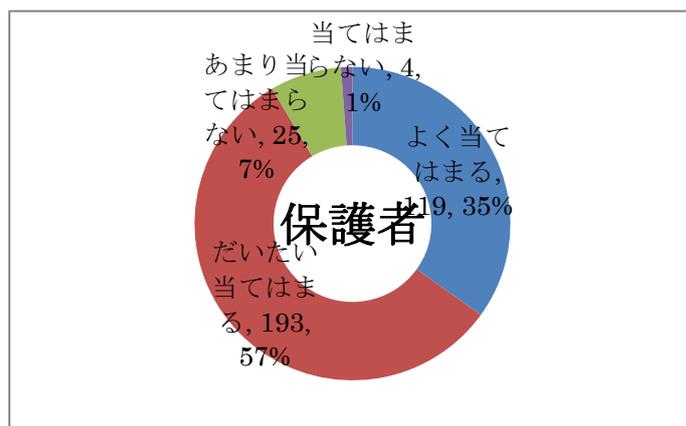
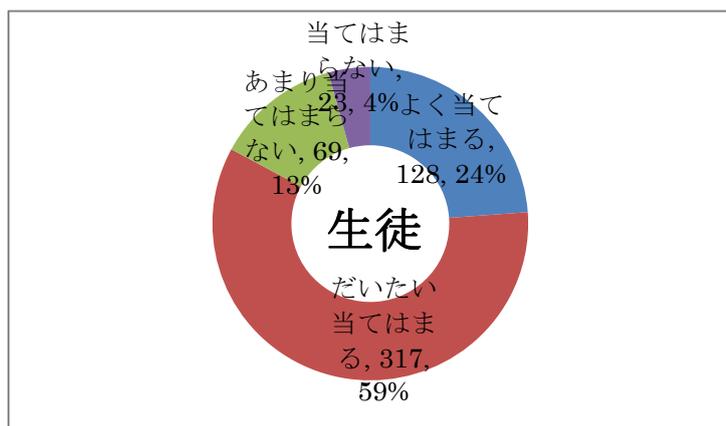
生徒指導について

生徒指導に関しては、「学校生活は充実している」という質問項目では、生徒83.0%・保護者91.5%と高い評価を得られています。この要因として着目した項目は次の4項目が挙げられます。

- | | | |
|-------------------------------------|----------|-----------|
| 2.挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている | 生徒 90.9% | 保護者 90.6% |
| 5.部活動は活発に行われている。 | 生徒 90.3% | 保護者 88.3% |
| 6.生徒会活動は行なわれている。 | 生徒 87.3% | 保護者 92.4% |
| 7.有意義な学校行事がある | 生徒 86.1% | 保護者 93.8% |

これらのことから、「5.部活動は活発に行われている」「6.生徒会活動は行なわれている」の項目より、社会生活に必要な自主・自立の精神が形成され、また有意義な学校行事などが生徒の心身の育成を支えている上で有効であることが分かりました。

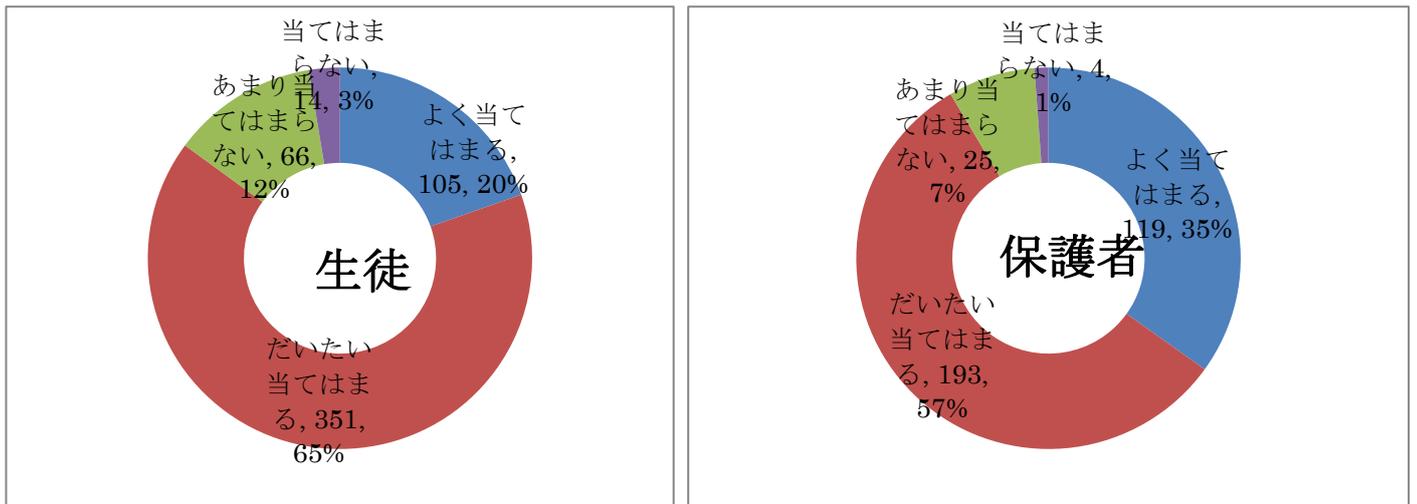
質問No.13. 学校生活は充実している。



進路指導について

厚生労働省の調査によると、平成26年11月末の高校生の全国就職内定率は84.1%ですが、本校では11月末時点で81.25%ですが、1月末現在では86.3%と伸びています。他の進路内訳としては、公務員が7名、四年制大学48/51名（国立大学1名）、各種専門学校41/46名であり、1月末全体の進路決定率は90.1%となっています。

質問No.3. 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。



学校評価 生徒保護者教員からの自由記述欄

生徒

- ・先生の一部は生徒の意見をあんまり聞いてくれないと思う。
- ・もう少し学校行事が増えてもいいと思います。
- ・サッカー部のグラウンドに照明をつけてください。
- ・女子の黒タイツ。→ 平成27年1月～3月期間限定で着用を認める。(施行)
- ・あいさつしろというわりに先生があいさつをしない。
- ・先生方、いつもありがとうございます。卒業までどうかよろしくお願いします。
- ・7時間授業の日は45分授業でいいと思う。

保護者

- ・災害時の休校等の連絡はもっと早くお願いします。仕事に出る時間が早いので間に合いません。
- ・子供自身の口から学校の行事や様子などを話すことは、ほぼ無い上、プリント等も確実に持ってきているか不安な部分もあるので、重要な案件や通常授業以外のことをする時など、学校メールで一斉送信していただけると、より確実かと思います。折角のメール配信サービスをもっと活用していただけると良いかと思います。
- ・本年、台風や自然災害等で、登校が心配な時があり、他の学校より対応が遅く感じられましたが、たしか2回目の時は早々に休校の連絡があり、安心して学校を休ませることができて良かったと思います。これからも生徒の安全を第一に考えていただき、早目の対応していただけるとありがたいです。
- ・実力があるのに部活動をしていない生徒が多いと思う。そこが残念である。
- ・生徒の自立を考えるのは良いが、全てを生徒に任せすぎで、保護者と学校との連携が取れていないような気がします。予定等をきちんと伝わってないと思います。
- ・定期テストの範囲を一覧で渡してほしい。教科書によっては、直前に知らされるのがあるので、きちんと早めに伝えてほしいと思います。
- ・入学式の時、駐車場に車を誘導してくれた生徒達はとても真摯でした。車のエンジンを止めて降りようとする時、「トントン」を窓を叩く坊主頭の清々しい生徒が『下が水溜りなので気を付けてください』とわざわざ教えてくれました。その生徒さんも素晴らしいと思い感動しましたし、先生方も素晴らしいんだなと思いました。今でも忘れられません。いつ行ってもやはり、生徒さんから気持ちのよい挨拶があります。どの学校にも負けない。とても誇らしいです。
- ・文化祭、見学に行きましたが、生徒主体でのびのびと楽しく行われていてとてもよかったと思います。
- ・総体などで、学校代表チームが優勝のかかる試合等は是非、学校一体となって応援できる体制になると盛り上がるかと思います。
- ・伝統行事である応援練習は、今後とも行ってほしいと思います。

- ・道路が整備されて安心して子供達の送迎ができます。自転車での通学にも安全に通えるのでいいと思います。
- ・最近、送迎する保護者の車のマナーが悪いと思います。校門前で車を停めるのは止めてほしいと思います。それから、オールシーズンの保護者の車の送迎で月間皆勤賞はいかなもののでしょうか？毎日、自力で学校へ通っている生徒と、毎日、部活もせず、朝と帰り、車で登下校する生徒と同じ扱いは、不平等のような気がします。
- ・自転車通学のマナーが悪すぎる。

教員

- ・地域と連携した取り組み、ボランティア、社会貢献といった面に理解してほしい。
- ・高等学校としては、行事が多すぎると思う。
- ・上記4項では、解答が難しいものがある。
- ・3年連続にわたり定数（定員）割れがおこり、学級減になりかねないところに、本校としての抜本的な教育活動（計画）を確立していかなければならないと考える。石巻市内の各中学生から魅力がないというあらわれであり、早急に取り組む必要がある。